

2014/11/6 図書館総合展フォーラム「大学の知の発信システムの構築に向けて——機関リポジトリの新たな可能性を探る」

技術で論文捕捉率を 100%にする

佐藤翔 (min2fly@slis.doshisha.ac.jp)

同志社大学社会学部教育文化学科／技術WG主査

技術WGの活動範囲

- 機関リポジトリのシステム基盤の高度化に関わること
- 活動内容にはシステムの仕様策定及び運用の検討を含む

日本の研究成果を

100%オープンにする

日本の成果を100%オープンに

- 「研究成果」の範囲はあとで考える
 - 当面は文献？ 特に限る気はない
- 政策／アドボカシーは他WGに任せる
 - もちろん協力はする
- 「技術的な障壁」の排除がミッション

日本の成果100%OAのために

1. 機関リポジトリ・Researchmap連携
2. IRへの文献データ自動収集
3. SCPJの今後の運用指針検討
4. IRログの標準処理・解析手順の確立
5. IRコンテンツ活用方法の模索

日本の成果100%OAのために

1. 機関リポジトリ・Researchmap連携
2. IRへの文献データ自動収集
3. SCPJの今後の運用指針検討

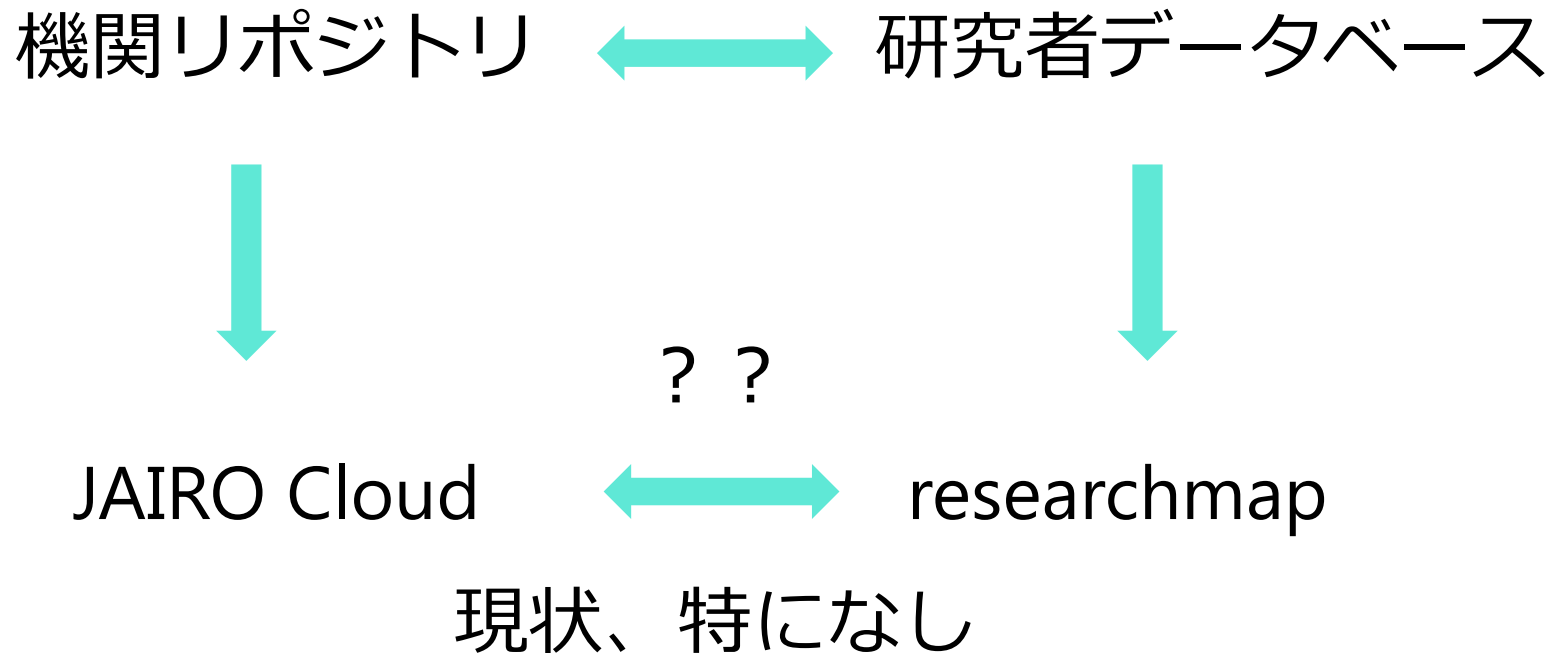
コンテンツ収集・登録支援

5. IRコンテンツ活用方法の模索

機関リポジトリ・

Researchmap連携

JCとresearchmapの連携



OpenDepoリポジトリ←New!!

◀ReaD & ▶Researchmap

▶ホーム 研究者検索 コミュニティ検索 マイポータル 招待する

論文 ダウンロード テキストで表示

機関リポジトリコンテンツの多面的な学内利用フレームワークの提案と実装
青山俊弘, 山地一禎, 池田大輔, 行木孝夫
情報知識学会 23(3) 380-394 2013年10月 [\[査読有り\]](#)

多様なポリシーを反映可能な認証フェデレーション機構の実現
西村 健, 中村 素典, 山地 一禎, 佐藤 周行, 大谷 誠, 岡部 寿男, 曾根原 登
電子情報通信学会論文誌 D J96-D(6) 1400-1412 2013年6月 [\[査読有り\]](#)

[One-on-One Approach for Open Online Courses Focusing on Large-Scale Online Courses](#)
Hori, M., Ono, S., Yamaji, K., Kobayashi, S.
Proceedings of the 5th International Conference on Computer Supported Education 177-182 2013年5月 [\[査読有り\]](#) [ダウンロード](#)

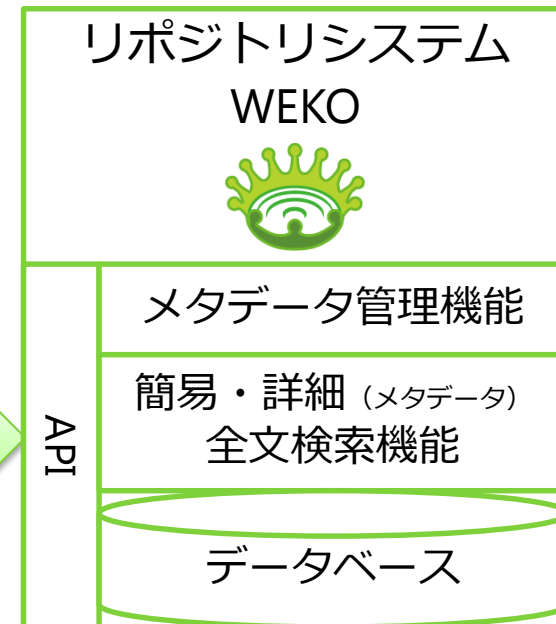
[Design and Implementation of a Functional Extension Framework for Authn & Authz Federation Infrastructure using Web Browser Add-on](#)
Akiyama, T., Nishimura, T., Yamaji, K., Nakamura, M., Okabe, Y.
Proceedings of 27th IEEE International Conference on Advanced Information Networking and Applications (AINA 2013) 389-396 2013年3月 [\[査読有り\]](#)

[Privacy Enhancing Proxies in Attribute Releases: Two Approaches](#)
Sato, H., Okabe, Y., Nishimura, T., Yamaji, K., Nakamura, M.
Computer Software and Applications Conference Workshops (COMPSACW), 2013 IEEE 37th Annual 379-384 2013年 [\[査読有り\]](#)

[Privacy Preserved Attribute Aggregation to Avoid Correlation of User Activities across Shibboleth SPs](#)
Nakamura, M., Nishimura, T., Yamaji, K., Sato, H., Okabe, Y.
Computer Software and Applications Conference Workshops (COMPSACW), 2013 IEEE 37th Annual 367-372 2013年 [\[査読有り\]](#)

TIES e-Portal2.0 Trials for Making Innovations in Open Education

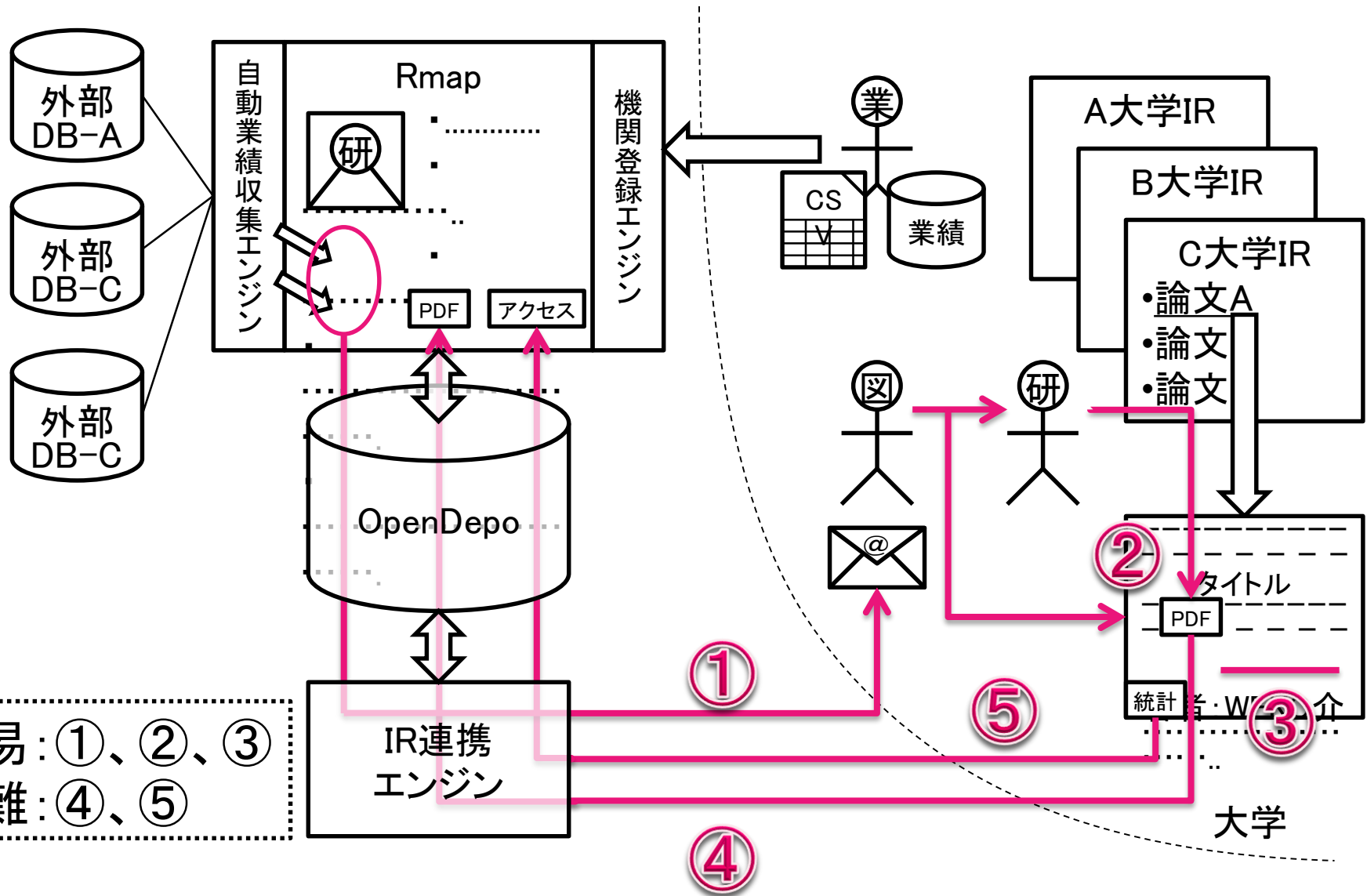
OpenDepoリポジトリ



今後実装したい機能

1. Rmapの業績データのうちJC上に本文が見当たらないものを抽出し、セルフアーカイブを促す機能
2. Rmapに業績データを登録する際にJCへ本文をデポジットできるようにする
3. JCの著者名からRmapへリンクする
4. Rmapの業績データからJCの本文へリンクする機能
5. JCの利用ログ（DL数など）をRmap側に通知（表示or非表示or配信）する機能

全体関係図

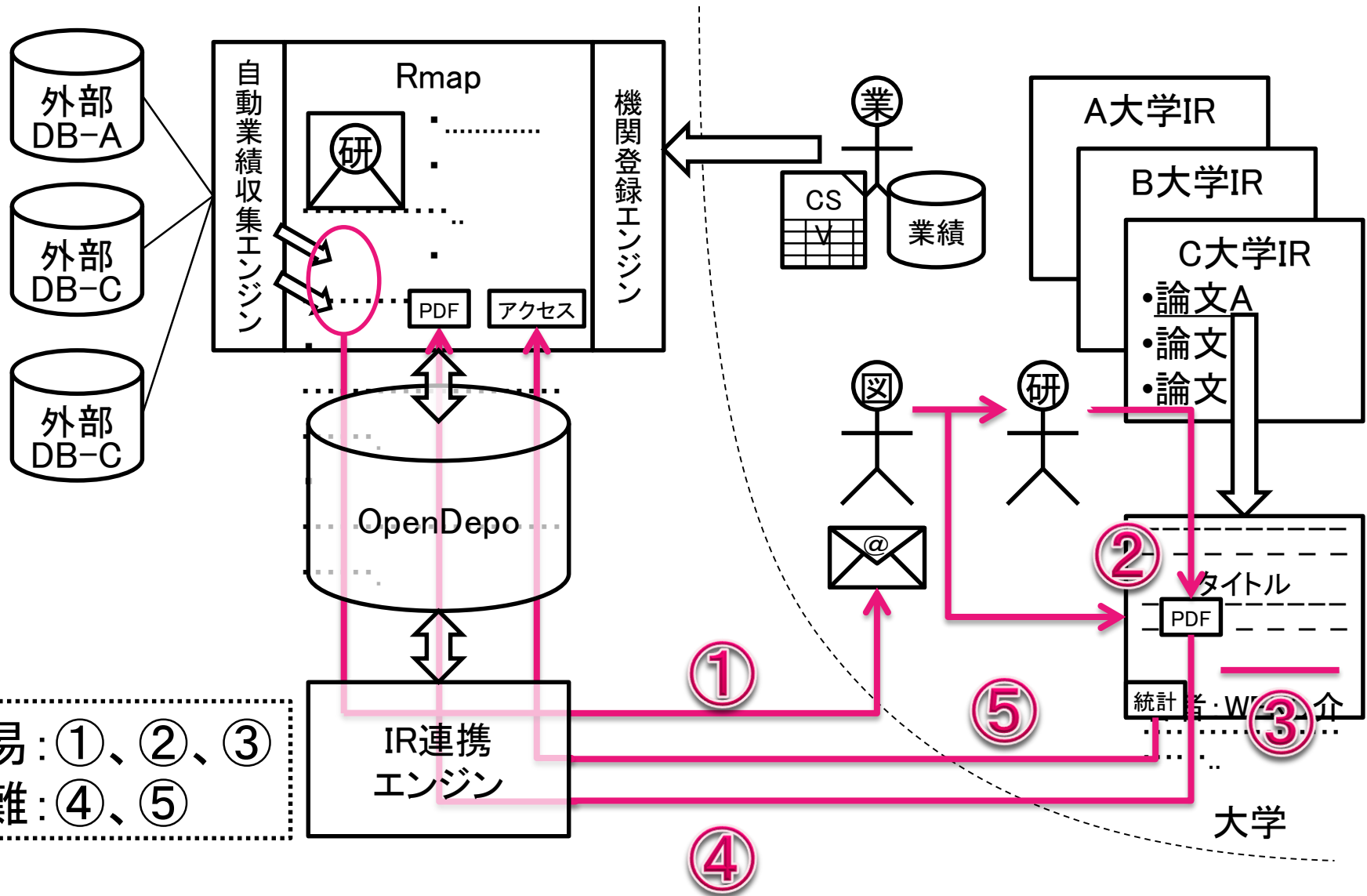


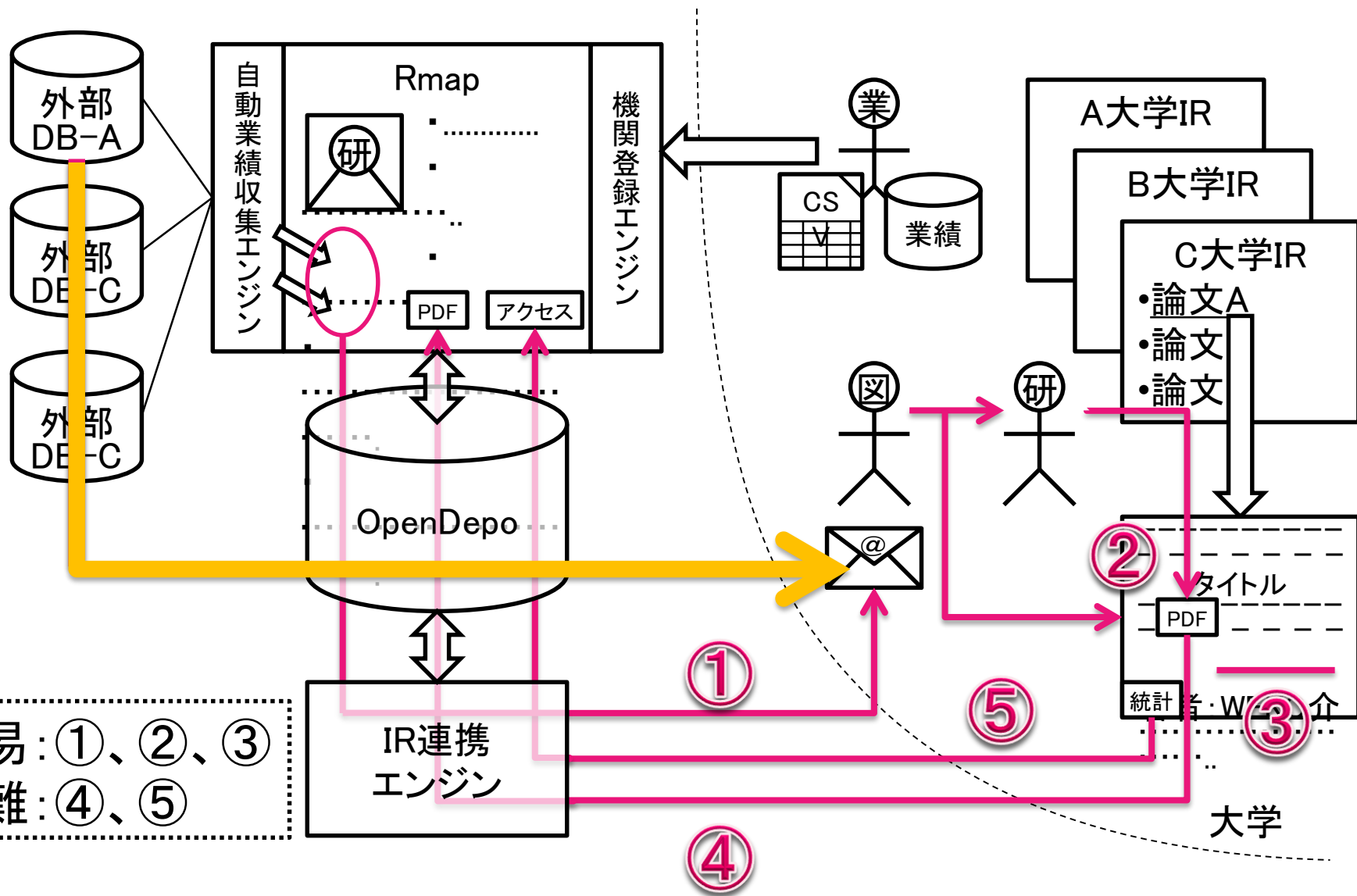
IRへの文献データ
自動収集

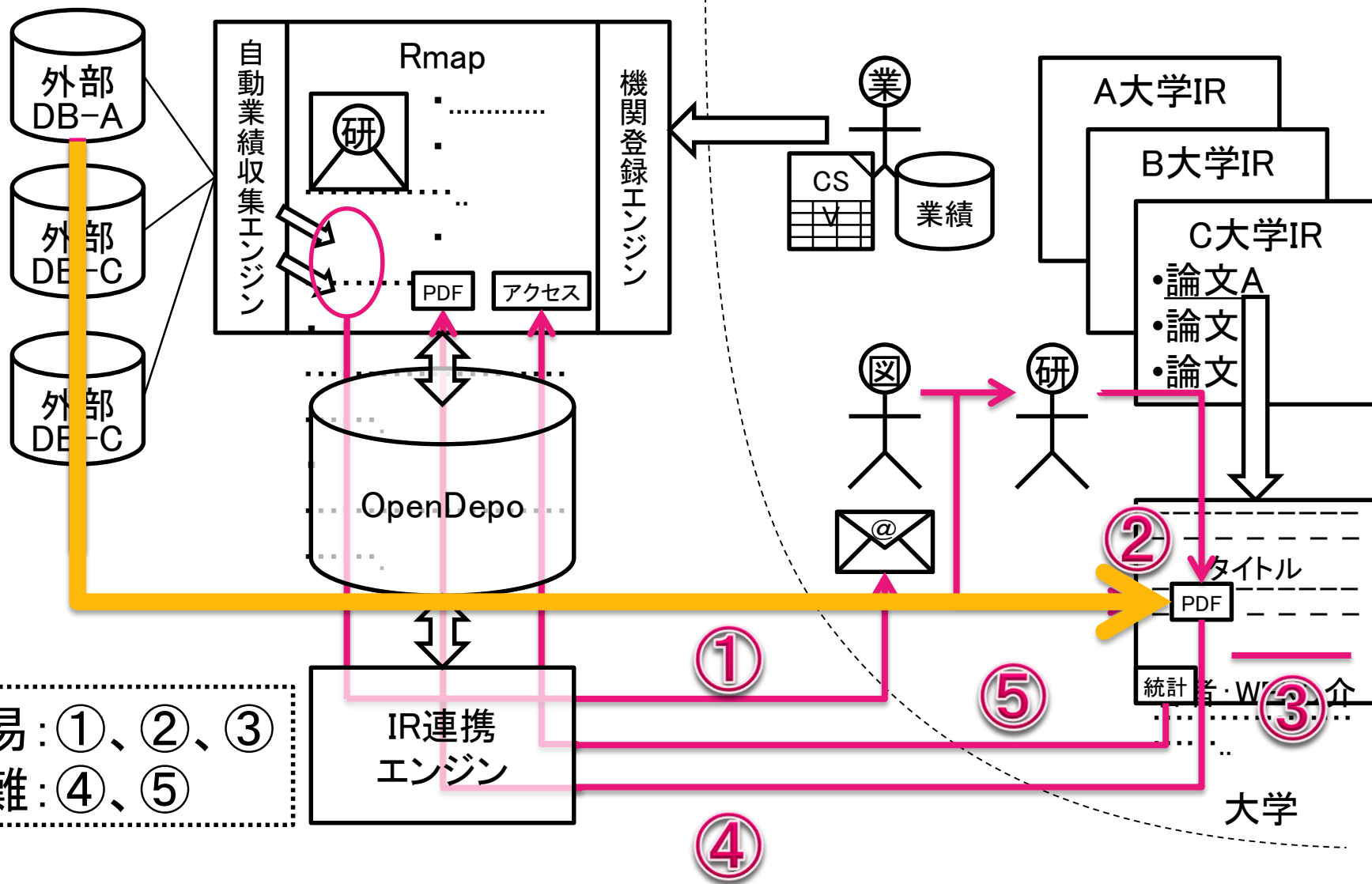
+

SCPJの今後の
運用指針検討

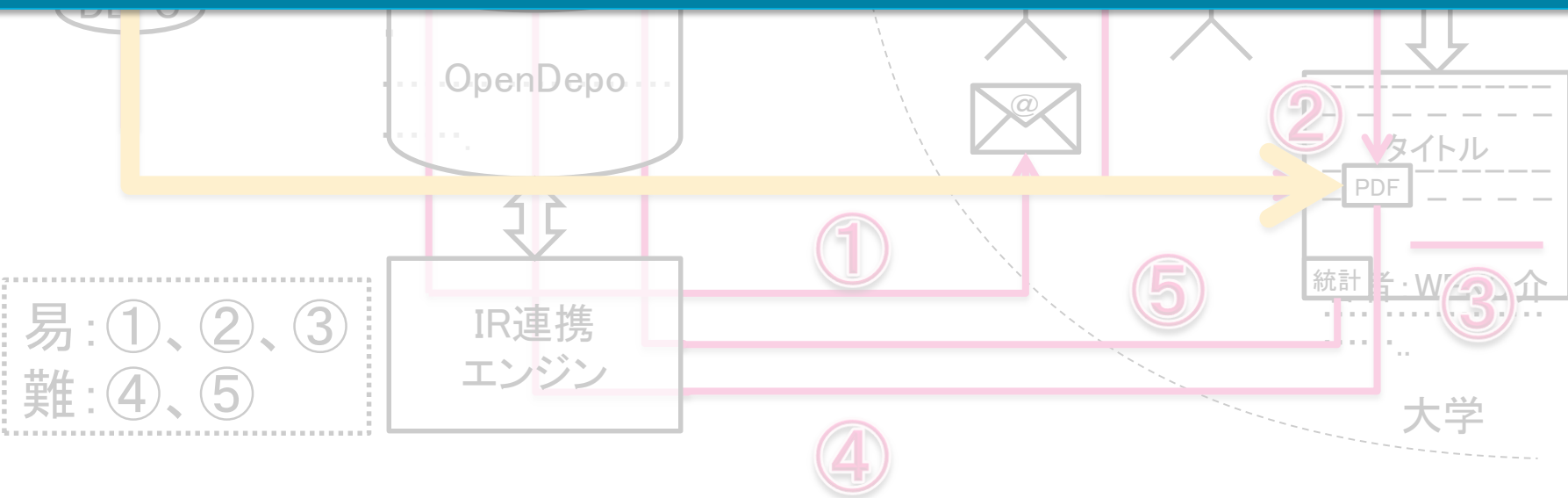
Researchmap連携







システムを開発しても 実現できないことは証明済み



CSI領域2・3の限界

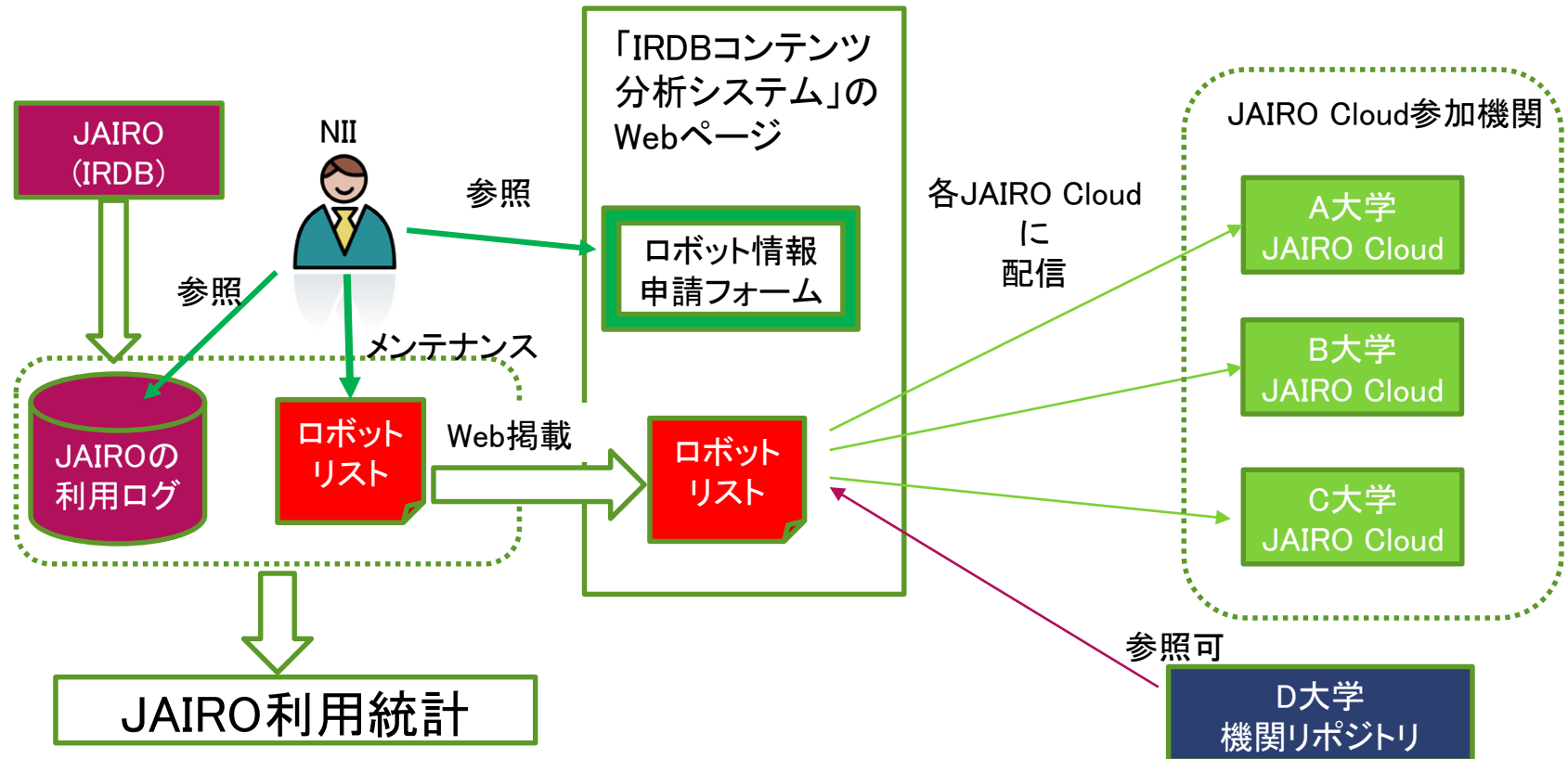
- 文献データ自動収集：CSI領域2
- SCPJ：CSI領域2⇒3
 - いずれも検討済み／運用実績あり・運用中
 - しかし運用に苦慮し、あるいは停止した
- 文献収集を行っているIRがそもそも...？
 - それが少ないなら技術の範疇ではない
 - それなりにあるなら、そのニーズを知る必要

文献登録業務に関する調査

- 2014年中の実施を目指して作成中
- 回答者を限定してのWeb調査
- 対象：できれば機関リポジトリ設置全機関
- それほどお時間とらせるつもりはない
- ぜひ協力を！

IRログの標準処理・ 解析手順の確立

ロボットリストの集中管理(案)



IRコンテンツ活用方法の 模索

コンテンツ活用方法の模索

- 100万件以上の研究・教育コンテンツ
- 「読む」以外の方法で活用できないか？
 - テキストマイニング
 - 人文社会系向けの評価指標構築（引用関係）
- 中長期をにらんだ活動
 - 考える「場」の用意

その他の活動

- 他のWG／NIIの技術関係の話題への助言
 - JaLCガイドラインについて等

2014/11/6 図書館総合展フォーラム「大学の知の発信システムの構築に向けて——機関リポジトリの新たな可能性を探る」

技術で論文捕捉率を 100%にする

佐藤翔 (min2fly@slis.doshisha.ac.jp)

同志社大学社会学部教育文化学科／技術WG主査